

令和 7年度 北海道蘭越高等学校

第 3 学年 シラバス ~ 年間授業計画 ~

教科	科目	担当	頁
国語科	論理国語	青山 望	60
	国語課題研究	青山 望	63
地理歴史科	地理探究	大久保 博史	65
	日本史探究	八木橋 拓史	68
公民科	政治・経済	小菅 敬祐	70
数学	数学	岡本 敏弘・奈良岡 英男	72
	数学 B	岡本 敏弘	74
	数学 C	岡本 敏弘	76
理科	地学基礎	田端 修	78
保健体育科	体育	小菅 敬祐	80
	地域とスポーツ	小菅 敬祐	82
英語科	コミュニケーション英語	南部 光養・大橋 満希	84
	論理・表現	南部 光養・大橋 満希	86
	英語会話	南部 光養	88
家庭科	保育基礎	浅川 寛子	90
	フードデザイン	浅川 寛子	92
情報科	コンテンツの制作と発信	斉藤 貴志	94

教科	国語	科目	論理国語
単位数	4単位	教科書	論国 706 新編 論理国語」(大修館書店)
学年 必 選	3年次 選択履修科目	副教材	新編 論理国語 学習 ノート(大修館書店) 「プライム常用国語」第一学習社) ジャンプアップ高校漢字問題集 改訂版」(東京書籍)
教科の目標	言葉による見方 考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2)生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。 (3)言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う		
科目の目標	言葉による見方 考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2)論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う		
評価の観点	知識 技能【知】	思考 判断 表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】
趣 旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けようとしている。	「書くこと」、読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。
履修上の注意	授業で使用するもの...論理国語教科書、ファイル、論理国語学習 ノート、プライム常用国語、chromebook 配布されたプリントはすべてファイルしてください。 忘れ物...授業が始まる前に必ず申し出てください。 授業...ペアワーク、グループワークをおして思考を深めていきます。 評価...ワークシート、学習活動への取り組み、小テスト(プライム 朝学習にて実施)、単元テスト		

		年間指導計画		時数		評価計画				
学期	月	単元 学習内容	学習活動 学習のねらい	書	読	話・聞	知	思	態	評価方法
前期 (第 期)	4	科目オリエンテーション 口絵 論理を学んでできること	科目について理解を深める。 論理について理解する。	1						学習活動への取り組み ・ワークシート ・小テスト ・単元テスト
		【第 1部】論理を培う 1 論理と出会う 論理的な人」とはどういう人か	・「論理」についての筆者の考えを読み取る。 筆者の主張をふまえ、これからの学習に興味をもつ。	5		○				
	5	【第 1部】論理を培う 2 具体と抽象 具体と抽象の関係 例題 突然変異と進化の関係 記号的メディアと物理的メディア 具体と抽象を使いこなそう	・具体と抽象の関係について考えを深める。 ・具体例の働きを的確にとらえ、具体と抽象の関係についての理解を深める。 ・文章の構成や展開のしかたに注目しながら、筆者の主張を読み取る。 ・具体と抽象の関係について、理解を深める。 ・内容を具体化してわかりやすくしたり、抽象化してまとめたりする。	8		○				
		【第 1部】論理を培う 3 対比をとらえる 比べて説明する 例題 米の種類と食文化 対話の精神 対比を使って主張する	対比の関係について考えを深める。 対比の関係を意識しながら、筆者の主張を読み取る。 対比の役割を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。 文章の構成や接続表現に注目しながら、筆者の主張を読み取る。 効果的な対比の用い方について、理解を深める。	8						
6	【第 2部】論理を活用する 補助線を引きながら考える 自分を客観的に見つめよう	筆者の問題意識をとらえ、主張を読み取る。 読み取ったことをふまえて、自分の思いや考えを深める。 自分自身を客観視し、認識を深める。 必要な情報を集め、整理し、わかりやすくまとめる。	5		○					

後期 (第 期)	12	<p>【第2部】論理を活用する 4 視点を変えて 人類の進化から考える「心」の誕生 ロボットに心はあるか クオリアと心 複数の文章を比較し、分析しよう 考えを整理する方法</p>	<p>複数の文章を比較・分析しながら読み、考えを深める。 問題提起と答えの関係を的確にとらえ、自分の考えをもつ。 複数の文章を比較・分析しながら読み、考えを深める。 具体例と主張の関係をとらえ、自分の意見をもつ。 複数の文章を比較・分析しながら読み、考えを深める。 独特の概念や筆者の主張を的確にとらえ、自分の考えをもつ。 特定のテーマについて複数の文章を比較・分析し、考えを深める。 複数の文章を読んで考えたことを、論点を明確にして書く。</p>	12						学習活動への取り組み ・ワークシート ・小テスト ・単元テスト
	1	<p>【第2部】論理を活用する 6 現代を考える 政治の本質 「である」ことと「する」こと 話し合って考えを深めよう</p>	<p>筆者の主張をふまえて、現代社会についての考えを深める。 発想のしかたや論理の展開に注意して、筆者の主張を読み取る。 筆者の主張をふまえて、現代社会についての考えを深める。 対比の役割を意識して本文を読み、筆者の主張を的確につかむ。 文章を読み、多様な視点からとらえ直すことで、考えを深める。 関心をもったテーマに関する文章や資料を読み、自分の考えや解釈を深めて、意見文にまとめる。</p>	12						
領域別授業数小計				43	77	授業時数合計			120	

教科	国語	科目	国語課題研究
単位数	2単位	教科書	使用なし
学年 必 選	3年次 総合教養コース 選択履修科目	副教材	使用なし
教科の目標	言葉による見方 考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2)生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合つ力を高め、思考力や想像力を伸ばす。 (3)言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたる国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う		
科目の目標	言葉による見方 考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合つ力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
評価の観点	知識・技能【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】
趣 旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けようとしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、地域課題を探究する中で伝え合つ力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に地域課題の探求に取り組んだり、思いや考えを広げたり深めたりしながら言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。
履修上の注意	授業で使用するもの…ファイル、ジャンプアップ高校漢字問題集、chromebook、(補助教材 国語表現教科書) 配布されたプリントはすべてファイルしてください。 忘れ物…授業が始まる前に必ず申し出てください。 授業…ペアワーク、グループワークをとおして学習を進めます。 評価…学習活動への取り組み、ワークシート、小テスト(2/月)、単元課題 単元課題は必ず提出期限を守ってください。 評価のキーワード「課題の発見 分析 解決」		

年間指導計画				時数			評価計画			
学期	月	単元 学習内容	学習活動 学習のねらい	話	書	読	知	思	態	評価方法
前期 (第 期)	4	科目オリエンテーション 話す・聞く情報収集 他己紹介をしよう	科目について理解を深める。 ・聞きたいことを明確にし、質問のしかたや話し方を工夫しながらインタビューする。	1					○	学習活動への取り組み ・ワークシート
		書く表現 ・1枚で自分を伝える 名刺をつくらう	伝えたいことが効果的に伝わるよう レイアウトやデザインを工夫して名刺を作る。		2					学習活動への取り組み ・ワークシート 小テスト
	5	書く情報収集 情報収集の仕方 図書館を使った調べ学習 ・さまざまなデータベースを使おう	情報収集における基本事項を確認し、実際に情報を集めてみる。 ・学校図書館や町立図書館を利用し、図書館を使った調べ学習ができるようになる。 ・さまざまなデータベースを使い、必要な情報の探り方を身につける。		6					学習活動への取り組み ・ワークシート 小テスト 単元課題
		6	書く情報収集 検証 分析 表現 学校ポスターをつくらう	読み手の心を動かすことができるような効果的なキャッチコピーを書く。 伝えたいことが効果的に伝わるよう レイアウトやデザインを工夫してポスターを作る。		6				

前期 (第 期)	6	【書く】テーマ設定 情報収集 整理・表現 情報を集める技術を応用して、パスファインダーをつくらう	・自分が設定したテーマについて、レファレンスのためのパンフレットをつくらう ・情報を取る技術を磨き、パスファインダーが見る人にとってわかりやすいように工夫する。	5			学習活動への取り組み ・ワークシート ・小テスト ・単元課題
	7	【話す 聞く】課題設定 情報収集 課題を設定する ・フィールドワークに出かけよう 電話のかけ方・インタビューの仕方・アンケートの取り方	・現状と目標のギャップを捉え、課題意識を持つ。 ・地域への取材やフィールドワークを行うにあたって、取材申し込みの仕方や他者のとコミュニケーションを習得し、情報を集める。	5	○	○	学習活動への取り組み ・ワークシート ・小テスト ・単元課題
後期 (第 期)	9	【書く】情報収集 整理分析 ・さまざまなデータベースを用いて情報を収集する 情報を整理し、分析する	・RESASなどを使用し、さまざまなグラフや表の読み方を身につける。 ・集めたデータを検証し、問題解決を見通して整理する。 ・整理した情報を多様な視点から分析する。	10			学習活動への取り組み ・ワークシート ・小テスト ・単元課題
	10	【書く】まとめ 表現 解決策の妥当性を検証する ・レポートの形でまとめる	・課題に対する解決策が妥当かどうか考える。 ・レポートの書き方を習得し、相手に伝わりやすいように工夫する。	7	○		学習活動への取り組み ・ワークシート ・小テスト ・単元課題
後期 (第 期)	11	【書く】振り返り 考えの更新 課題に対する相互評価をする 自分の探究の全体を吟味する	・レポートについて何ができて、何ができていないか把握する。 ・研究のプロセスを検証し、ブラッシュアップさせる。	7			学習活動への取り組み ・ワークシート ・小テスト ・単元課題
	12	【話す 聞く】表現 発表に向けて資料の準備をする	・CT機器を使い、聞き手にわかりやすい表現を用いた課題研究をまとめる。	7			学習活動への取り組み ・ワークシート ・小テスト ・単元課題
	1	【話す 聞く】表現 校内実践発表会	聞き手に伝わるように話す能力を身に付ける。	4			学習活動への取り組み ・ワークシート ・単元課題
領域別授業時数小計				17	43	授業時数合計	60

教科	地理歴史	科目	地理探究
単位数	3単位	教科書	地探 702 新詳地理探究」(帝国書院)
学年 必 選	3年次 選択履修科目	副教材	新詳高等地図」(帝国書院) 新詳地理探究演習 ノート」(帝国書院)
教科の目標	<p>社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3)地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>		
科目の目標	<p>社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3)地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。</p>		
評価の観点	知識・技能【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】
趣 旨	<p>環境、産業、交通、貿易、人口、都市、文化などに関わる地理的諸事象を項目別に空間的な傾向や規則性、関連する課題の要因などを系統地理的に理解し、既存の地理的デジタル技術の活用ができること</p>	<p>地理的諸事象の意味や意義、特色・相互関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との空間的相互依存関係などに着目して、得た知識や技能を活用して多面的・多角的に考察できること。および、考察したことを効果的に説明し、議論できること。</p>	<p>20%時間を有効に活用し、地誌的考察で得た知識を現代的な地球規模の課題に結びつけられること。これらを持続可能性という観点から探究課題を自ら設定し、他者への発信を行うことができること。</p>
履修上の注意	<p>(1)オリエンテーション時に示す「授業のルール」を守り、積極的に授業中の活動に取り組んでください。</p> <p>(2)授業で利用するペーパー類は、Web上での配布となります。紙媒体として持っておきたいときには、所属校の担当の先生に相談してください。</p> <p>(3)適宜、ペアワークやグループワークを行います。相手の意見や主張を尊重しつつ、自らの意見や主張を積極的に発信していきましょう。</p> <p>(4)授業中、主に教科書・演習ノートを使用して授業を行います。説明の内容や疑問に思ったことはノートを準備しメモ取るなどの工夫をしてください。</p> <p>(5)普段から、「なぜ」「どうして」という姿勢で授業に能動的に参加しましょう。</p> <p>< 遠隔授業について ></p> <p>(1)授業者は対面授業時を除き、基本的に配信校から授業をします。授業中の質問や疑問等については随時対応しますが、申し出にくい場合などについては、教室にいる受信担当の先生に申し出ても構いません。</p> <p>(2)授業者が現地にいない分、皆さんの積極的な活動がより一層重要になります。メリハリをもって活動したり、わからないところを互いに教え合ったりすることは特に重要です。ぜひ、一緒に授業を「作っていく」つもりで参加してください。</p> <p>(3)その他の遠隔授業の特性についてはオリエンテーション時に説明します。</p> <p>(4)授業について、不安なことや気になること、配慮して欲しいことなどがあれば、可能な範囲で個別対応します。直接相談しにくい場合は、クラスルームなどを利用してもらっても構いません。</p> <p>(5)授業では常に持ち込み端末を利用します。各自で Google の学校 (公式) アカウントの設定や充電を忘れなないようにお願いします。</p>		

		年間指導計画			評価計画			
学期	月	単元 学習内容	学習活動・学習のねらい	時数	知	思	態	評価方法
第 期		オリエンテーション 1 ガイダンス	科目の目標や年間計画を理解させる。 ・各自の端末(PC等)の利用方法を説明する。 ・中学校までの学習内容を確認するとともに、地理を学ぶ意義を理解させる。	1				
	4 ・ 5	地形 第 章 自然環境 1 地形の成因と地球表面の起伏 2 地球規模の大地形 3 河川流域と海岸にみられる小地形 4 そのほかの特徴的な小地形 対面授業	地球表面には、地球規模の大地形や、河川が形成した小地形などのさまざまな地形がみられる。それぞれの地形には、どのような特徴や成因があり、人間活動とどのように関わっているのかを理解、考察させる。	12				学習活動の観察 演習ノート 言語表現活動 テスト
		気候 第 章 自然環境 1 気候の成り立ち 2 気候と生態系 3 世界の気候区分 4 さまざまな気候帯 5 気候変動と異常気象	気温や降水量、風などの気候要素は地域によって異なるため、地球上の生態系はさまざまである。気候の違いは、どのような要因で生まれるのだろうか。また、人々の生活にどのような影響を与えていかを理解、考察させる。	12				学習活動の観察 演習ノート 言語表現活動 テスト
		単元テスト		1				
第 期		地球環境問題 第 章 自然環境 1 地球環境問題とは 2 さまざまな地球環境問題 3 地球環境問題の解決に向けた取り組み	地球上では、さまざまな環境問題が発生している。地球環境問題を解決して、地球と人類が共存できる持続可能な社会をつくり出すためには、どのような考え方で、どのような取り組みをすればよいのかを理解、考察させる。	4				学習活動の観察 演習ノート 言語表現活動 テスト
	6 ・ 7 ・ 8	農林水産業 1 農業の発達と分布 2 農業の地域区分 3 現代世界の農業の現状と課題 4 日本の農業の現状と課題 5 世界と日本の林業 6 世界と日本の水産業	農林水産業は、自然条件の影響を受けるとともに、社会条件の変化に伴って変容してきた。農林水産業の分布や発達には、どのような傾向や規則性がみられるのかを理解、考察させる。	10				学習活動の観察 演習ノート 言語表現活動 テスト
		食料問題 第 2章 資源と産業 1 世界の食料問題 2 日本の食料問題	食料の分配は、世界全体をみると著しい偏りがある。飽食や飢餓がみられるのは、それぞれどのような地域だろうか。また、その原因は何かを理解、考察させる。	4				学習活動の観察 演習ノート 言語表現活動 テスト
		単元テスト		1				

第 9 ・ 10 ・ 11 期	<p>エネルギー 鉱産資源 第2章 資源と産業 1 エネルギー資源の種類と利用 2 化石燃料の分布と利用 3 電力の利用 4 鉱産資源の種類と利用</p> <p>対面授業</p>	<p>世界のエネルギー 鉱産資源の分布には、大きな偏りがある。エネルギー 鉱産資源は、どのようにして生活や産業に利用され、生産や消費の不均衡をなくすためにどのようなことが行われているかを理解 考察させる。</p>	8			<p>学習活動の観察 演習 ノート 言語表現活動 テスト</p>
	<p>資源・エネルギー問題 第2章 資源と産業 1 資源・エネルギーをめぐる課題 2 日本の資源・エネルギー問題</p>	<p>これまでの資源・エネルギー問題は、限りある資源をどのように利用するかという考え方であった。今後、資源・エネルギー問題を解決し、持続可能な社会を実現するためには、どのような考え方が必要かを理解 考察させる。</p>	4			<p>学習活動の観察 演習 ノート 言語表現活動 テスト</p>
	<p>工業 第2章 資源と産業 1 工業の発達と種類 2 工業の立地 3 世界の工業地域 4 現代世界の工業の現状と課題 5 工業の知識産業化とスタートアップ企業 6 日本の工業</p>	<p>工業は、さまざまな製品を生み出し、人々の生活や産業の発展を支えてきた。世界の工業はどのように発展し、現在はどのような工業分野や地域が中心となり、どのように変わろうとしているのかを理解 考察させる。</p>	12			<p>学習活動の観察 演習 ノート 言語表現活動 テスト</p>
	<p>第3次産業 第2章 資源と産業 1 経済発展と第3次産業 2 商業の現状と変化 3 商業以外のさまざまな第3次産業</p>	<p>経済が発展すると、物やサービスへの需要が高まるため、第3次産業が主力の産業となる。第3次産業の現状はどのようになっているのかを理解 考察させる。</p>	9			<p>学習活動の観察 演習 ノート 言語表現活動 テスト</p>
	単元テスト		1			
第 12 ・ 1 期	<p>探究学習の総括 現代世界におけるこれからの日本の国土像 持続可能な国土像の探究 各自選択</p>	<p>第2部 地誌的考察の自学を踏まえ世界や日本のなかの持続可能性に取り組む事例を探究し、調査・研究・発表活動をさせる。</p>	10			<p>学習活動の観察 演習 ノート 言語表現活動 テスト</p>
	単元テスト		1			

教科	地理歴史		科目	日本史探究			
単位数	3単位		教科書	日探 704 高等学校 日本史探究 清水書院			
学年 必 選	3年次 選択履修科目		副教材	高等学校 日本史探究 「ワークノート」(清水書院) 山川ビジュアル版 日本史図録 (山川出版社)			
教科の目標	<p>社会的な見方 考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3)地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>						
科目の目標	<p>我が国の歴史の展開に関する諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解し、調査や諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる。</p> <p>我が国の歴史の展開に関する事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、歴史的な見方 考え方を働かせて多面的・多角的に考察、構想、表現する。</p> <p>我が国の歴史の展開に関する諸事象について、よりよい国家や社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、我が国や他国の伝統や文化を尊重する。</p>						
評価の観点	知識 技能 【知】		思考力 判断力 表現力 【思】		主体的に学習に取り組む態度 【態】		
趣 旨	我が国の歴史の展開に関する諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解しているとともに、調査や諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。		我が国の歴史の展開に関する事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し、その解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。		我が国の歴史の展開に関する諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。		
履修上の注意	ワークはテスト終了時に必ず集めます。それ以外も提出を求める場合があります。教具を忘れた場合は授業が始まる前に職員室へ報告しに来てください。授業には教科書・ワーク 資料集・クロームブックを準備して下さい。						
年間指導計画							
学期	月	単元 学習内容	学習活動 学習のねらい	時数	知	思 態	評価方法
前期 (第 1 期)		授業開き シラバス説明 都道府県	小テスト	1			授業態度 発問評価 グループワーク 教具準備 ワーク内容 テスト
	4	第 1 編 原始・古代の日本と東アジア 第 1 章 黎明期の日本列島と歴史的環境 第 2 章 歴史資料と原始・古代の展望	黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解する。	4			
		第 3 章 古代の国家・社会の展開と画期 第 1 節 古代国家の形成と東アジア	国家の形成と古墳文化、律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、古代の政治・社会や文化の特色を理解する。	8			
		テスト		1			
	5	第 2 節 古代国家の推移と社会の変化	貴族政治の展開、平安期の文化、地方支配の変化や武士の誕生などを基に、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解する。	4			
テスト			1				
前期 (第 2 期)	6	第 2 編 中世の日本と世界 第 1 章 中世への転換と歴史的環境 第 2 章 歴史資料と中世の展望	政治主体や土地支配の変容を基に古代から中世への時代の転換を理解する。	4			授業態度 発問評価 グループワーク 教具準備 ワーク内容 テスト
		第 3 章 中世の国家・社会の展開と画期 第 1 節 武家政権の成立と展開	武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸長、中世の社会や文化の特色を理解する。	6			
	テスト		1				

前期 (第 期)	7	第2節 武家政権の変容と中世の社会	政治や文化の多元化,多様化,国際関係の変化などを基に,地域権力の成長,社会の変容と文化の特色を理解する。	9				授業態度 発問評価 グループワーク 教具準備 ワーク内容 テスト
		テスト		1				
後期 (第 期)	8	第3編 近世の日本と世界 第1章 近世への転換と歴史的環境 第2章 歴史資料と近世の展望	政治 経済政策や対外関係を基に中世から近世への時代の転換を理解する。	4				授業態度 発問評価 グループワーク 教具準備 ワーク内容 テスト
	9	第3章 近世の国家・社会の展開と画期 第1節 幕藩体制の成立と近世の社会	支配秩序や対外関係,技術・産業・文化の展開などを基に,幕藩体制の確立や近世の社会と文化の特色を理解する。	8				
		テスト		1				
	10	第2節 幕藩体制の動揺と社会の変化	政治体制や社会の動揺,産業・学問の発展,庶民の生活や文化などを基に,幕藩体制の変容,庶民の生活と文化の特色,近代化の基盤の形成を理解する。	7				
		テスト		1				
	11	第4編 近現代の地域・日本と世界 第1章 近代への転換と歴史的環境 第2章 歴史資料と近代の展望	対外関係や政権の転換を基に近世から近代への時代の転換を理解する。	4				
12	第3章 近現代の地域・日本と世界の画期と構造 第1節 近代国家の形成	明治維新,自由民権運動,大日本帝国憲法の制定,文明開化の風潮,条約改正などを基に,立憲体制への移行,国民国家の形成,アジアや欧米諸国との関係の変容を理解する。	14					
	テスト		1					
		産業革命の展開,学問の発展や教育制度の拡充,社会問題の発生などを基に,産業の発展の経緯と近代文化の特色を理解する。	4					
1	第2節 政党政治と大衆社会	第一次世界大戦,社会運動の動向,政党政治などを基に,政治参加の拡大の意義,アジアや欧米諸国との関係の変容,大衆社会の形成を理解する。	5					
	テスト		1					

前期 (第 期)	7	第2編 現代日本の政治 第1章 現代の経済社会	<p>経済的な効率性と公平性の対立関係について考える。 経済的な課題への対応を考える。 経済主体を理解する。市場メカニズムを考える。 市場の効率性と公平性はどのように調整されるべきか考える。 企業の役割と社会的責任について考える。 ・Nから三面等価の原則について考える。 経済成長と私たちの豊かな生活について考える。 金融を通じた経済活動の活性化について考える。 中央銀行の役割について理解する。 財政の持つ様々な役割について考える。 納税者としての立場から租税のあり方について考える。 ・これからの財政のあり方を考える。</p>	8			記述の評価(タブレット端末・プリント・ノート) 発言・行動による評価
	8						
後期 (第 期)	9	小テスト 第2章 現代の日本経済と福祉の向上	<p>歴史的な事象が日本経済に与えた影響を考える。 ・人口減少社会と格差・貧困が与える影響を考える。 経済の二重構造に注目して日本経済を考える。 ・社会とのかかわりに着目して、の中小企業の姿を考える。 ・農業の自由化を背景として改革が進められている農政について考える。 契約の権利と責任の関係を考える。 経済成長と公害問題との関係を考える。 法制度の整備のほか、消費者の行動について考える。 労働法の整備状況や、職場の人権保障について考える。 ・日本の雇用形態の変化や、ワーク・ライフ・バランスについて考える。 諸外国の制度との比較も含めて考える。 ・少子高齢化や日本の財政の現状も踏まえながら、今後の課題を理解する。</p>	7			記述の評価(タブレット端末・プリント・ノート) 発言・行動による評価
	10	第3編 現代日本における諸課題の探究	<p>・取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明、論述する。</p>	3			行動評価 プレゼン評価
	11	第2部 現代の国際政治 経済 第1編 現代の国際政治 第1章 現代の国際政治	<p>・国内政治や国内法との比較で考える。 ・二度の世界大戦が国際法と国際政治に与えた影響について考える。 主要機関や専門機関の働きから考える。 安保理改革などを材料に国際連合の課題を考える。 国際社会の力学の変化を考える。 ・大国の動向や、国家対国家の枠組みに収まらない対立構造について考える。 ・ナショナリズムや自民族中心主義との関係から考える。 冷戦による対立構造と安全保障のジレンマを確認する。 核兵器禁止条約の採択に向けた動きを参考に考える。 ・とくにアジア諸地域の信頼回復の経緯を確認する。 ・人間の安全保障の観点から考える。</p>	7			記述の評価(タブレット端末・プリント・ノート) 発言・行動による評価
	12	小テスト		1			記述の評価
後期 (第 期)	12	第2編 現代の国際経済 第1章 国際経済理論	<p>比較生産費説を検討して考える。 ・貿易収支の数値から一国の貿易の動向を確認する。 外国為替市場における需要と供給の関係を確認する。 ・具体的な事例を基にして為替相場の動向が経済に与える影響を考える。</p>	2			記述の評価(タブレット端末・プリント・ノート) 発言・行動による評価
	12	第2章 国際経済の動向と課題	<p>・本文や図版資料を基に、歴史的な経過を確認する。 ・ドーハラウンドにおける先進国と途上国の対立や、二国間交渉への傾倒などから課題を考える。 各地域の状況を確認する。 ・多角主義の原則から二国間協定への流れ、さらにメガFTAの挑戦といった過程を確認する。 ・中国とインドについて、その現状と課題を理解する。 ・ヒト・モノ・カネが自由に移動した結果、世界はこれまで以上に緊密化したことを確認する。 金融危機などの影響もグローバル化し、富の偏在も世界規模に拡大したことを確認する。 ・資源ナショナリズムや新国際経済秩序樹立に関する宣言などを通して考える。 途上国間の経済格差について理解する。 ・エネルギー資源の歴史と化石燃料が大量消費される背景を理解する。 地球温暖化問題をめぐる現状と課題について理解する。 援助と開発の過程について確認する。</p>	6			記述の評価(タブレット端末・プリント・ノート) 発言・行動による評価
	1	小テスト 第3編 国際社会における諸課題の探究	<p>・取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明、論述する。</p>	3			行動評価 プレゼン評価

教科	数学	科目	数学
単位数	3単位	教科書	数 711 新編数学 Ⅰ(数研出版)
学年 必 選	3年次 必履修科目	副教材	新課程 3TRIAL 数学 Ⅰ(数研出版)
教科の目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p> <p>(3)数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>		
科目の目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>(3)数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>		
評価の観点	知識・技能【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】
趣 旨	<p>いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。</p> <p>事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。</p>	<p>数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。</p>	<p>数学のよさを認識し数学を活用しようしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようしたりしている。</p> <p>問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>
履修上の注意			
年間指導計画			
学期	月	単元・学習内容	学習活動・学習のねらい
前期 (第 期)	4	第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理	<p>弧度法と度数法のかきかえを学び、扇形の弧の長さや面積を求められるようにする。</p> <p>三角関数のグラフや周期性について理解し、性質や関係性について理解を深め、活用できるようにする。</p> <p>三角関数の相互関係を理解し、等式の変形や証明を導くことができる。</p> <p>三角方程式や不等式を解くことができる。</p> <p>加法定理およびそれを用い多計算をできるようにする。</p> <p>三角関数の合成を行うことで、複雑な式を簡潔にまとめることができる。</p>
	5		
	6	単元テスト	
			時数
			知
			思
			態
			評価方法
			授業態度 発問評価 宿題提出 小テスト 単元テスト など

前期 (第 期)	6	第5章 指数対数と対数関数 第1節 指数関数	指数を正の整数から有理数まで拡張し活用できるようにする。 底が簡単な数値の指数関数を扱い、関数値を求めグラフを書き特徴を理解する。 指数法則を利用し、方程式や不等式を解けるようにする。	12			授業態度 発問評価 宿題提出 小テスト 単元テスト など
	7	2節 対数関数	指数関数と対数関数の関係性を理解し、整理できるようにする。 対数の性質を理解し計算できるようにする。 対数の性質を理解し、方程式・不等式を解けるようにする	9			
	8 ・ 9	常用対数	常用対数を用いて桁数を求めたり、文章題を解いたりできるようにする。	5			
	9	単元テスト		1			
後期 (第 期)	9	第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数	平均変化率は具体的な事例を通して考察し、意味を理解し、整理できるようにする。 微分係数の意味を理解し、整理できるようにする。 導関数については微分係数との関係性を確かめながら理解し、関数の和、差など求められるようにする。	4			授業態度 発問評価 宿題提出 小テスト 単元テスト など
		2節 関数の値の変化	微分係数を利用して関数のグラフの接線の方程式を求める。	4			
	10	関数の増減と極大・極小	増減表を用いて3次関数のグラフをかけるようにする	11			
	11	方程式・不等式の応用	3次関数のグラフを利用し方程式・不等式を解けるようにする。	9			
		単元テスト		1			
後期 (第 期)	12 ・ 1	第3節 積分法 不定積分 定積分	微分の逆の演算として不定積分を求められるようにする。 定積分について理解し、整理できるようにする。	6			授業態度 発問評価 宿題提出 小テスト 単元テスト など
		面積	図形で囲まれた部分の面積を積分を用いて求められるようにする。	8			
		単元テスト		1			

教科	数学	科目	数学B
単位数	2単位	教科書	数B712 新編数学B」(数研出版)
学年 必 選	3年次 総合教養コース 選択履修科目	副教材	新課程 3TRIAL 数学B」(数研出版)
教科の目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p> <p>(3)数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>		
科目の目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推察し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を養う。</p> <p>(3)数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>		
評価の観点	知識・技能【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】
趣 旨	<p>・数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。</p> <p>・数学と社会生活の関わりについて認識を深めている。</p> <p>・事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身につけている。</p>	<p>離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推察し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身につけている。</p>	<p>数学のよさを認識し数学を活用しようしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。</p> <p>問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>
履修上の注意	統計的な推測では数学Aで学習した分散、標準偏差、数学Aでは組合せ、確率の知識が必要になります。		

年間指導計画				評価計画				
学期	月	単元 学習内容	学習活動・学習のねらい	時数	知	思	態	評価方法
前期 (第 期)	4	第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列	数列の意味を理解する。 一般項の意味を理解し、求められるようにする。	1				授業態度 発問評価 宿題提出 小テスト 単元テスト など
		等差数列	等差数列の意味を理解し、一般項やその和を求められるようにする。	5				
	5	等比数列	等比数列の意味を理解し、一般項やその和を求められるようにする。	6				
	6	単元テスト		1				

前期 (第 期)	6	第2節 いろいろな数列 和を表す記号	Σ の意味を理解し活用できるようにする。	6				授業態度 発問評価 宿題提出 小テスト 単元テスト など
	7	階差数列	階差数列について理解し、一般項を求められるようにする。	3				
		漸化式	隣り合う2項間の規則性を理解し、一般項を求められるようにする。	3				
	8	数学的帰納法	数学的帰納法を用いて証明することができる。	3				
	9	単元テスト		1				
後期 (第 期)	9	第2章統計的な推測 第1節 確率分布	数学、数学Aで既習事項の分散、標準偏差、期待値から、確率変数における期待値、分散、標準偏差を求めることができる。	7				授業態度 発問評価 宿題提出 小テスト 単元テスト など
	10	確率変数の和と積 二項分布 正規分布	・確率変数の和や積を考察し、期待値、分散、標準偏差を求めることができる。	12				
			・二項分布に従う確率変数の期待値や分散、標準偏差を求めることができる。 ・標準正規分布に従う確率変数 Z について、標準正規分布表を用いて確率を求めることができる。					
	11	単元テスト		1				
後期 (第 期)	12・1	母集団と標本 標本平均の分布 推定 仮説検定	・標本調査の考え方について理解を深める。 ・正規分布を用いた区間指定及び仮説検定の方法を理解することができる。	10				授業態度 発問評価 宿題提出 小テスト 単元テスト など
	1	単元テスト		1				

教科	数学	科目	数学C					
単位数	2単位	教科書	数C710 新編 数学C」(数研出版)					
学年 必 選	3年次 総合教養コース 選択履修科目	副教材	新課程 3TRIAL 数学C」(数研出版)					
教科の目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p> <p>(3)数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>							
科目の目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)大きさや向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p> <p>(3)数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>							
評価の観点	知識・技能【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】					
趣 旨	ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 数学的な表現の工夫について認識を深めている。 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	大きさや向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。					
履修上の注意								
年間指導計画								
学期	月	単元 学習内容	学習活動 学習のねらい	時数	知	思	態	評価方法
前期 (第 期)	4	1 ベクトル 2 ベクトルの演算 3 ベクトルの成分	ベクトルは大きさや向きを持つ量であることを理解し、ベクトルの和、差、実数倍を求められるようにする。	6				授業態度 発問評価 宿題提出 小テスト 単元テスト など
	5	4 ベクトルの内積 5 位置ベクトル	内積について理解し、求められるようにする。 線分の内分点、外分点、三角形の重心を位置ベクトルを用いて表すことができる。	7				
		単元テスト		1				

前期 (第 期)	6	6 ベクトルの図形への応用 7 図形のベクトルによる表示	位置ベクトルを活用することで、図形の性質の考察において形式的な処理ができることを理解できるようにする。	6			授業態度 発問評価 宿題提出 小テスト 単元テスト など
	7	空間ベクトル	座標およびベクトルの考えが平面から空間に拡張出来ることを理解できるようにする。	8			
後期 (第 期)	単元テスト			1			授業態度 発問評価 宿題提出 小テスト 単元テスト など
	8 ・ 9	第3章複素数平面 1複素数平面 2複素数の極形式	複素数平面について理解し、それらの事象の考察に活用出来るようにする。 複素数が絶対値と偏角を用いて表せることに興味・関心を持ち、進んで考察しようとする。	7			
	10	3 ドモアブルの定理 4 複素数と図形	ドモアブルの定理を利用して、方程式の解を求める方法を理解している。 複素数平面上の図形を複素数の計算を用いて調べる方法を理解する。	8			
	単元テスト			1			
後期 (第 期)	11	第4章式と曲線 1放物線 2楕円 3双曲線	楕円の方程式から、焦点、長軸・短軸の長さを求めることができる。 双曲線の方程式から、焦点、漸近線等を求めることができる。 複雑な方程式で表される2次曲線を平行移動の考えを利用して調べようとする。	6			授業態度 発問評価 宿題提出 小テスト 単元テスト など
	12 ・ 1	4 2次曲線の平行移動 5 2次曲線と直線 6 曲線の媒介変数表示 7 極座標と極方程式	複雑な方程式で表される2次曲線を平行移動の考えを利用して調べようとする ・2次曲線と直線の関係を調べることができる。 ・曲線を媒介変数表示できる。 ・直線や2次曲線を極方程式で表すことに取り組もうとする。	8			
	単元テスト			1			

教科	理科	科目	地学基礎
単位数	3単位	教科書	地基 704 高等学校 地学基礎」(数研出版)
学年 必 選	3年次 必履修科目	副教材	新課程 高等学校 地学基礎準拠 サポートノート」(数研出版)
教科の目標	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 (2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う (3)自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う		
科目の目標	地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う (3)地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う		
評価の観点	知識・技能【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】
趣 旨	日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	地球や地球を取り巻く環境から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
履修上の注意	単元ごとにファイル・サポートノートを集めます。 板書を書き写すときは色ペンを使ったり見やすい工夫をしてください。		

年間指導計画				評価計画				
学期	月	単元・学習内容	学習活動・学習のねらい	時数	知	思	態	評価方法
前期 (第 1 期)	4	第 1 編 活動する地球 第 1 章 地球の構造 地球の形と大きさ	地球の形と大きさの測定のしかた、地球内部の層構造を理解する。 測定方法の歴史を踏まえ、構成物質の違いや変形のしやすさによる違いから分けられることを理解する。	3				授業態度 発問評価 ワークシート 単元テスト
		地球の構造		4				
	5	第 2 章 プレーートの運動 プレートテクトニクスと地殻変動 プレート運動のしかた	地球の表面は、十数枚のプレートでおおわれていること、境界で様々な地殻変動が起こることを理解する。 ・プレート境界では、断層や褶曲などの地質構造が形成されたり、変成作用が生じたりすることも学ぶ。 ・プレート運動の原動力についても理解する。	4 5				
第 3 章 地震 地震		地震発生のしくみを、プレート運動と関連付けて学ぶ。また、地震波の性質や、プレート境界と地震の分布の関係についても理解する。 ・日本付近で発生する地震について理解を深めるとともに、地震によってどのような災害が発生し、どのような対応が必要かを理解する。	3				授業態度 発問評価 ワークシート 単元テスト	
前期 (第 2 期)	6	地震の分布		3				
		地震災害		2				
	7	第 4 章 火山 火山活動	火山噴火のしくみ、多様な噴火活動と火山地形、マグマが発生するしくみを学ぶ。 火山活動はプレート運動と関連があることを理解する。また、火成岩の特徴や分類についても学ぶ。 ・日本における活火山を知り、火山災害への対応だけでなく、火山の恩恵についても理解する。	4				授業態度 発問評価 ワークシート 単元テスト
		火成岩		4				
7	火山がもたらす恵みと災害		4					

前期 (第 期)	7	第2編 移り変わる地球 第1章 地層の形成 堆積作用と堆積岩	堆積作用 侵食作用で形成される陸上と海底の地形や、堆積岩の形成過程を学ぶ。また、土砂災害の種類についても学ぶ。 地層の重なり方や変形のしかた、堆積構造を観察することで、地層の本来の層序や堆積環境がわかることを理解する。	3			授業態度 発問評価 ワークシート 単元テスト
		地層の形成		3			
後期 (第 期)	8	第2章 古生物の変遷と地球環境 化石と地質時代の区分	地球環境と古生物は互いに影響を及ぼしあって変遷し、現在の姿があることを理解する。 地球環境や古生物について調べる方法や地質時代の区分のしかたを理解し、時間の長さを感覚的にとらえる。また、人類の進化についても学ぶ。	6			授業態度 発問評価 ワークシート 単元テスト
		9		古生物の変遷	6		
後期 (第 期)	10	第3編 大気と海洋 第1章 地球の熱収支 大気の構造	地球の大気が、気温の変化から4つの層に分けられていることを理解する。特に、対流圏で様々な気象現象のほとんどが起きていることを学ぶ。 太陽放射エネルギーと地球のエネルギー収支について理解する。地球の自然環境は、地球のエネルギー収支のつりあいの上に成り立っていることを学ぶ。	4			授業態度 発問評価 ワークシート 単元テスト
		地球全体の熱収支		3			
	11	第2章 大気と海水の運動 大気の大循環	大気や海水の大循環は、緯度方向の熱収支の不均衡を是正するためのものであることを理解する。また、長い時間をかけてめぐる海洋の鉛直方向の循環を学ぶ。 日本の各季節の天気の特徴を理解し、気象災害について学び、防災に役立てる。	5			授業態度 発問評価 ワークシート 単元テスト
		海水の運動		4			
後期 (第 期)	11	第4編 地球の環境 第1章 地球の環境と日本の自然環境 気候の自然変動	気候の自然変動や人間活動による環境変化を、全地球的な空間スケール、および長期的な時間スケールでとらえて理解し、考える力を身につける。環境保全を図りながら、持続可能な開発をする必要があることも学ぶ。 日本は、特徴的な地形や気候によって、豊かな自然環境が育まれていることを理解する。一方で、多発する自然災害に対応する必要があることも学ぶ。	2			授業態度 発問評価 ワークシート 単元テスト
		人間活動による環境変化		2			
	12	日本の自然環境	2			授業態度 発問評価 ワークシート 単元テスト	
		第3編 太陽系と宇宙 第1章 太陽系と太陽 太陽系の天体	4				
1	太陽	2			授業態度 発問評価 ワークシート 単元テスト		
	太陽系の誕生と現在の地球	2					
1	第2章 宇宙の誕生 宇宙の誕生	銀河系の構造を理解し、その中の太陽系の位置を学ぶ。また、ビッグバンで始まった宇宙の誕生と変遷を学ぶ。	3				

教科	保健体育	科目	体育					
単位数	3単位	教科書	保体 701 現代高等保健体育」(大修館書店)					
学年 必 選	3年次 必履修科目	副教材	現代高等保健体育 ノート」(大修館書店)					
教科の目標	<p>体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う</p> <p>(3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う</p>							
科目の目標	<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う</p> <p>(3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組み、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う</p>							
評価の観点	知識・技能【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】					
趣 旨	運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身につけている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わう事ができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。					
履修上の注意	特別な理由がない限り、本校指定のジャージを着用すること。体調管理のため着替えなど持参すること。アクセサリ類(腕時計を含む)を取り外しておこなうこと。見学する場合は朝のうちに事前に連絡すること。							
年間指導計画								
学期	月	単元 学習内容	学習活動・学習のねらい	時数	知	思	態	評価方法
前期 (第 1 期)		オリエンテーション・集団行動	シラバスの説明を通して、授業の流れを理解する。 ・集団行動を通して統一感や協調性を身につけ、授業を効率よく進められるようにする。	1				
	4	選択 器械運動 ダンス 球技(バドミントン・バスケッ ボール)	< 器械体操 > ・多様な楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方などを理解するとともに、自己に適した技で演技できるようにすること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及び器械運動に主体的に取り組むとともに、協力、参画、共生などの意欲を身に付け、健康・安全を確保することができるようにする。 < ダンス > ・多様な楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語などを理解するとともに、交流や発表をすること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及びダンスに主体的に取り組むとともに、協力、参画、共生などの意欲を身に付け、健康・安全を確保することができるようにする。	20				記述の評価(タブレット端末・プリント・ノート) 発言・行動による評価 技能の観察評価
前期 (第 2 期)	5							
	6	選択 球技(ソフトテニス・ソフトボ ール)	< 球技 > ・多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解するとともに、仲間と連携しゲームを展開すること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及び球技に主体的に取り組むとともに、協力、参画、共生などの意欲を身に付け、健康・安全を確保することができるようにする。	19				
	7							
	8	体育理論	豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解すること	6				記述の評価(タブレット端末・プリント・ノート) 発言・行動の観察評価
	9							

後期 (第 期)	9	体づくり運動	体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の 行い方などを理解するとともに、実生活に役立てること 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り 組み、考えたことを他者に伝えること及び体づくり運動に 主体的に取り組むとともに、協力、参画、共生などの意欲 を身に付け、健康・安全を確保することができるようにす る。	2			記述の評価(タブレット端 末・プリント・ノート) 発言・行動の観察評価
	10	陸上競技(長距離)	多様な楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方など を理解するとともに、長距離種目特有の技能を身に付け ること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課 題に取り組む、考えたことを他者に伝えること及び陸上競 技に主体的に取り組むとともに、協力、参画、共生などの 意欲を身に付け、健康・安全を確保することができるよう にする。	14			記述の評価(タブレット端 末・プリント・ノート) 発言・行動による評価 技能の観察評価
		11	体づくり運動	体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の 行い方などを理解するとともに、実生活に役立てること 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り 組み、考えたことを他者に伝えること及び体づくり運動に 主体的に取り組むとともに、協力、参画、共生などの意欲 を身に付け、健康・安全を確保することができるようにす る。	8		
後期 (第 期)	12	球技(バレーボール)	多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方な どを理解するとともに、仲間と連携しゲームを展開するこ と、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に 取り組み、考えたことを他者に伝えること及び球技に主体 的に取り組むとともに、協力、参画、共生などの意欲を身 に付け、健康・安全を確保することができるようにする。	20			記述の評価(タブレット端 末・プリント・ノート) 発言・行動による評価 技能の観察評価
	1						

教科	保健体育		科目	地域とスポーツ				
単位数	2単位		教科書	なし				
学年 必 選	3年次 総合教養コース 選択履修科目		副教材	なし				
教科の目標	<p>体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>							
科目の目標	<p>スポーツの価値や特性に着目して、楽しさや喜びを味わうとともに、地域社会の活性化や健康増進等につながることを理解し、スポーツの力を活用した様々な地域課題や健康課題を解決するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) スポーツによる地域創生の理解を深めるとともに、体育や保健の見方・考え方を働かせ課題を発見し、解決に向けて必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 実践、交流、検証などを行い、課題解決に向けて思考し判断するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) スポーツの力を活用した地域課題の解決等に主体的に取り組む態度を養う。</p>							
評価の観点	知識・技能【知】		思考・判断・表現【思】		主体的に学習に取り組む態度【態】			
趣 旨	スポーツによる地域創生を理解するとともに、体育や保健の見方・考え方を働かせ課題を発見し、解決に向けて必要な技能を身に付けている。		地域課題を発見し、スポーツの力を活用した解決方法を思考し、適切な解決方法を選択するといった、よい解決に向けて判断するとともに、考えたことを他者に伝えている。		スポーツの力を活用した地域課題の解決等に主体的に取り組むとしている。			
履修上の注意	特別な理由がない限り 本校指定のジャージを着用すること。 内容によっては制服にすることも。 体調管理のため着替えなど持参すること。 アクセサリー類（腕時計を含む）を取り外しておこなうこと。 見学する場合は事前に連絡すること。 タブレット端末は毎授業持参すること。							
年間指導計画				評価計画				
学期	月	単元・学習内容	学習活動・学習のねらい	時数	知	思	態	評価方法
前期 (第1期)	4	オリエンテーション	シラバスの説明を通じて、授業の流れを理解する。	1				記述の評価（タブレット端末・プリント等） 発言・行動に対する観察評価
		スポーツの価値と地域課題の関係を考える	・スポーツの価値や多様な可能性に気づき、地域課題との接点を見出す。 ・地域の現状に目を向け、スポーツの役割について関心をもち、	5				
前期 (第2期)	5	○スポーツの多様な可能性を広げる	・健康、福祉、経済、教育など多面的な視点からスポーツと地域のつながりを捉える。 ・自分の関心に近いテーマや問いを見出す。	8			○	
		地域との関わりを通じて学ぶ	・地域の人や場所との実際の交流を通じて、スポーツの力と地域の課題の自ら体感する。 ・体験を通して自らの問いや関心を高める。 ・グラントゴルフ交流やヨガ体験、幼稚園・保育園交流を計画しています。	16				
前期 (第3期)	6							
	7							
	8							
	9							

後期 (第 期)	9	○課題を見つけ、解決策を探る	・自分の問いを掘り下げ、スポーツを通じた課題解決策を立案・実践・検証する。 ・地域への還元を見据え、成果としてまとめる力を身につける。 第 期 の 評 価 に つ い て は 成 績 処 理 週 間 時 点 で の 見 通 し を も っ て 評 価 す る。	23			記述の評価(タブレット端末・プリント等) 発言・行動に対しての観察評価
	10						
	11						
後期 (第 期)	12	○成果を発信し、学びを振り返る	探究の成果を発信する。 学びを振り返り、自己の成長と社会参画意識を高める。	7			
	1						

教科	外国語	科目	英語コミュニケーション
単位数	2単位	教科書	C 701「A II Aboard! English Communication」(東京書籍)
学年 必 選	3年次 必履修科目	副教材	夢をかなえる英単語 新コメタン1大学合格必須レベル」(アルク) 英和辞典 和英辞典等
教科の目標	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれら結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>		
科目の目標	<p>英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、教科の目標の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、教科の目標の(3)に示す資質・能力を育成する。</p> <p>(1)聞くこと ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。</p> <p>(2)読むこと ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。</p> <p>(3)話すこと【やり取り】 ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合う「やり取り」を続けることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いた「読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができるようにする。</p> <p>(4)話すこと【発表】 ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いた「読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>(5)書くこと ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いた「読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。</p>		
評価の観点	知識・技能【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】
趣 旨	英語の特徴やきまりに関する知識を身につけている。 実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について話されたり書かれたりする文章等を聞いた「読んだりして、その内容を捉えたり、それらの内容について話したり書いたりして表現したり伝え合ったりするために必要な技能を身に付けている。	日常的な話題や社会的な話題について話されたり書かれたりする文章等を聞き取ったり読み取ったりして、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、必要な情報を聞き取ったり読み取ったり、話し手や書き手の意図を把握したり、概要や要点などを捉えたりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
履修上の注意	授業で使用したプリントは、ファイルに綴じて保管してください。 ファイルの提出を求めています。		

		年間指導計画			評価計画			
学期	月	単元 学習内容	学習活動・学習のねらい	時数	知	思	態	評価方法
前期 (第 期)	4	Lesson 3 Wild Man	形式主語の i を用いた文を読んで内容を理解することができる。また、形式主語の i を用いて客観的な事実や自分の考えを表現することができる。	3				発問評価 ワークシート提出 小テスト 単元テスト パフォーマンステスト
			風習や慣習についての文章を読んだり聞いたりして、その内容を理解することができる。	2				
	5	Lesson 4 Little Hero	物語文を読んだり聞いたりして、その内容を理解することができる。	3				
			間接疑問文を読んで内容を理解することができる。また、基本的な疑問文との構造の違いを理解することができる。	2				
		単元テスト		2				
前期 (第 期)	6	Lesson 5 Special Makeup in Kabuki	伝統文化に関する文章を読んだり聞いたりして、その内容を理解することができる。	3				発問評価 ワークシート提出 小テスト 単元テスト パフォーマンステスト
			to不定詞の意味上の主語を理解できる。	3				
	7	Lesson 6 Seeds for Future Generation	条件を表す i の使用方法の違いに留意しながら「~かどうか」を表すことができる。	4				
			地元の文化や風習に関する話を聞いて内容を理解できる。また、自身の地元の文化等について発表することができる。	4				
		単元テスト		2				
後期 (第 期)	9	Lesson 7 Over the Wall	プロジェクトに関する文章を読んで内容を理解することができる。	3				発問評価 ワークシート提出 小テスト 単元テスト パフォーマンステスト
			関係代名詞と関係副詞の違いを理解し、必要に応じて使い分けすることができる。	3				
	10	Lesson 8 Inspiration from Nature	商品の開発の経緯や特徴等について書かれた文章を読んで、その要点を理解することができる。	3				
			知覚動詞の種類と原形不定詞の用法について正しく理解し、活用することができる。	3				
11	Lesson 9 The Bitter Truth behind Chocolate	社会問題について書かれた文章を読んで、その要点を理解することができる。	6					
		単元テスト		2				
後期 (第 期)	12	Lesson 9 The Bitter Truth behind Chocolate	使役動詞の種類と原形不定詞の用法について正しく理解し、活用することができる。	6				発問評価 ワークシート提出 小テスト 単元テスト パフォーマンステスト
	1	Lesson 10 Fighting Angel	職業について書かれた文章を読んで、その要点を理解することができる。	2				
			分詞構文を用いた分が表す内容を適切に理解することができる。	2		○		
		単元テスト		2				

教科	外国語	科目	論理 表現
単位数	2単位	教科書	論 706『V STA Logic and Expression 』(三省堂)
学年 必 選	3年次 必履修科目	副教材	なし
教科の目標	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらをつなげた統合的な言語活動を通して、情報や考え等を的確に理解したり適切に表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る脂質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p> <p>(1)外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。</p> <p>(3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>		
科目の目標	<p>英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、話すこと(やりとり)、話すこと(発表)、書くことの三つの領域(以下この節において「三つの領域」という)別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、教科の目標の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、教科の目標の(3)に示す資質・能力を育成する。</p> <p>(1)話すこと(やりとり)</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やりとりを通して必要な情報を得たりすることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いた、読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝え合うことができるようにする。</p> <p>(2)話すこと(発表)</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いた、読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。</p> <p>(3)書くこと</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いた、読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。</p>		
評価の観点	知識・技能【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】
趣 旨	<p>日常的な話題のなかで使用されるレベルの基本的な語彙や表現を身につけている。</p> <p>各単元文法において、文の語順を理解し、正しく活用することができる。</p>	<p>日常的な話題や社会的な話題について、論理的に文章を組み立て、適切に表現することができる。</p>	<p>学習の方法や表現の仕方について、改善点を探し、粘り強く取り組む中で自らの学習を調整している。</p> <p>また、それが伝わるように記録に残している。</p>
履修上の注意	<p>授業で使用したプリントは、ファイルに綴じて保管してください。</p> <p>ファイルの提出を求めることがあります。</p>		

年間指導計画				評価計画				
学期	月	単元 学習内容	学習活動・学習のねらい	時数	知	思	態	評価方法
前期 (第 1 期)	4	Lesson1 Guess Who?	時制(現在形・過去形など)の文構造を理解し、活用できる。 人物やキャラクターについて適切に表現することができる。	2			○	授業態度の観察 提出物 授業内単元テスト パフォーマンステスト
		Lesson1 Guess Who?	時制(現在形・過去形など)の文構造を理解し、活用できる。 人物やキャラクターについて適切に表現することができる。	3			○	授業態度の観察 提出物 授業内単元テスト パフォーマンステスト
	5	Lesson2 Space Travel	不定詞を用いた文の構造を理解し、活用できる。 宇宙で体験してみたいアイデアについて適切に表現することができる。	3			○	授業態度の観察 提出物 授業内単元テスト パフォーマンステスト
		Lesson2 Space Travel	不定詞を用いた文の構造を理解し、活用できる。 宇宙で体験してみたいアイデアについて適切に表現することができる。	4			○	授業態度の観察 提出物 授業内単元テスト パフォーマンステスト

前期 (第 期)	6	Lesson3 Where is the Post Office?	前置詞を用いた文の構造を理解し、活用できる。 英語で道案内をすることができる。	3		○	授業態度の観察 提出物 授業内単元テスト パフォーマンステスト
		Lesson3 Where is the Post Office?	前置詞を用いた文の構造を理解し、活用できる。 英語で道案内をすることができる。	3		○	授業態度の観察 提出物 授業内単元テスト パフォーマンステスト
	7	Lesson4 Wonderful World	受動態を用いた文の構造を理解し、活用できる。 世界のおすすめスポットを紹介するポスターを適切な英語の表現を使って作成することができる。	2		○	授業態度の観察 提出物 授業内単元テスト パフォーマンステスト
		Lesson4 Wonderful World	受動態を用いた文の構造を理解し、活用できる。 世界のおすすめスポットを紹介するポスターを適切な英語の表現を使って作成することができる。	3		○	授業態度の観察 提出物 授業内単元テスト パフォーマンステスト
	8	Lesson5 Job Search	動名詞・比較を用いた文の構造を理解し、活用できる。 面接で自分を適切にアピールすることができる。	2			授業態度の観察 提出物 授業内単元テスト
		Lesson5 Job Search	動名詞・比較を用いた文の構造を理解し、活用できる。 面接で自分を適切にアピールすることができる。	3			授業態度の観察 パフォーマンステスト 提出物
後期 (第 期)	9	Lesson6 New Type Robots!	助動詞を用いた文の構造を理解し、活用できる。 理想のロボットについて、英語でプレゼンテーションをすることができる。	3		○	授業態度の観察 提出物 授業内単元テスト
		Lesson6 New Type Robots!	助動詞を用いた文の構造を理解し、活用できる。 理想のロボットについて、英語でプレゼンテーションをすることができる。	3			授業態度の観察 パフォーマンステスト 提出物
	10	Lesson7 Enjoy Japanese Foods	分詞を用いた文の構造を理解し、活用できる。 英語で和食のレシピを適切に紹介することができる。	3			授業態度の観察 提出物 授業内単元テスト
		Lesson7 Enjoy Japanese Foods	分詞を用いた文の構造を理解し、活用できる。 英語で和食のレシピを適切に紹介することができる。	3			授業態度の観察 パフォーマンステスト 提出物
	11	Lesson8 Looking for an Apartment	形容詞・副詞を用いた文の構造を理解し、活用できる。 英語でルームメイト募集の広告を適切に作成することができる。	3		○	授業態度の観察 提出物 授業内単元テスト
		Lesson8 Looking for an Apartment	形容詞・副詞を用いた文の構造を理解し、活用できる。 英語でルームメイト募集の広告を適切に作成することができる。	4			授業態度の観察 パフォーマンステスト 提出物
後期 (第 期)	12	Lesson9 Ideas from Nature	tha節 関係副詞を用いた文の構造を理解し、活用できる。 身近なバイオミミクリーについて、プレゼンテーションをすることができる。	3		○	授業態度の観察 提出物 授業内単元テスト
		Lesson9 Ideas from Nature	tha節 関係副詞を用いた文の構造を理解し、活用できる。 身近なバイオミミクリーについて、プレゼンテーションをすることができる。	4			授業態度の観察 パフォーマンステスト 提出物
	1	Lesson10 Let's Learn about SDGs!	関係代名詞を用いた文の構造を理解し、活用できる。 社会問題とその解決策について、自分の考えを紹介することができる。	3		○	授業態度の観察 提出物 授業内単元テスト
		Lesson10 Let's Learn about SDGs!	関係代名詞を用いた文の構造を理解し、活用できる。 社会問題とその解決策について、自分の考えを紹介することができる。	3			授業態度の観察 パフォーマンステスト 提出物

教科	外国語 (英語)		科目	英語会話			
単位数	2単位		教科書	なし			
学年 必 選	3年次 総合教養コース 選択履修科目		副教材	『Sailing English conversation』(啓林館)			
教科の目標	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらをつなげた統合的な言語活動を通して、情報や考え等を的確に理解したり適切に表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。</p> <p>(3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>						
科目の目標	<p>英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、三つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、教科の目標の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、教科の目標の(3)に示す資質・能力を育成する。</p> <p>(1)聞くこと ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。 (2)話すこと〔やり取り〕 ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、聞いた/読んだ/したことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができるようにする。 (3)話すこと〔発表〕 ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、聞いた/読んだ/したことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。</p>						
評価の観点	知識・技能【知】		思考・判断・表現【思】		主体的に学習に取り組む態度【態】		
趣 旨	情報発信・情報交換に必要な語彙や表現、文章構成に関する知識を身につけているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。		日常生活の様々な場面において、情報や考え等を伝えたり理解したりすることができる。		コミュニケーションに関心を持ち、主体的に言語活動に取り組み、目的を達成しようとしている。		
履修上の注意	総合教養コース選択者のみ対象。 授業で使用したプリントは、ファイルに綴じて保管してください。						
年間指導計画							
学期	月	単元 学習内容	学習活動・学習のねらい	時数	知	思 態	評価方法
前期 (第 期)	4	Unit 1 Warm-up 1 English A round the World	様々な人の自己紹介を聞いて、必要な情報を得ることができる。また、自分自身について伝えることができる。	3	○	○	授業態度 発問評価 ワークシート パフォーマンステスト
		Unit 1 Warm-up 2 People A round Us	他人の自己紹介を聞いて、必要な情報を得ることができる。また、友人や周囲の時運物を紹介することができる。	3		○ ○	授業態度 発問評価 ワークシート パフォーマンステスト
		Unit 2 Lesson 1 What Day Is Convenient for You?	学校生活について必要な情報を得たり会話したりすることができる。また、自分の予定について質問したり誘ったりすることができる。	3		○ ○	授業態度 発問評価 ワークシート パフォーマンステスト
	5 6	Lesson 2 How Was Last Sunday?	過去の出来事について質問したり答えたりすることができる。	3	○	○	授業態度 発問評価 ワークシート パフォーマンステスト

前期 (第 期)	Lesson 3 Could I Have an Extra Blanket?	機内を想定して、自分の要求を依頼することができる。また、機内アナウンスから必要な情報を聞き取ることができる。	2	○	○	授業態度 発問評価 ワークシート パフォーマンステスト
	Lesson 4 Who's Calling, Please?	電話での応答表現を適切に使い、必要な情報を得たり伝えたりすることができる。	2	○	○	授業態度 発問評価 ワークシート パフォーマンステスト
	Lesson 4 Who's Calling, Please?	誘ったり誘いに対して返答したりすることができる。	2	○	○	授業態度 発問評価 ワークシート パフォーマンステスト
	Lesson 5 How Can I Get There?	人に道を聞いたり 聞かれたときに応答したりすることができる。また、感謝を伝えたり 感謝に応答したりすることができる。	2	○	○	授業態度 発問評価 ワークシート パフォーマンステスト
	Show & Tell	写真や道具を使って、自分の好きな場所・人物などを紹介することができる。その際、聞き手に配慮した文章構成や話し方に留意して伝えることができる。	2	○	○	授業態度 発問評価 ワークシート パフォーマンステスト
8	Lesson 6 May I Help You?	買い物をする際の会話を適切に進めることができる。また、金額や色、サイズなどの情報を引き出すことができる。	6	○	○	授業態度 発問評価 ワークシート パフォーマンステスト
	Lesson 7 You Look Nice in That Dress!	相手を褒めたり 褒められた際に応答したりすることができる。また、人の外見的特徴を表すことができる。	4	○	○	授業態度 発問評価 ワークシート パフォーマンステスト
	9					
後期 (第 期)	Lesson 8 I'm Not Feeling Well	体の部位や症状の表現を使って、体調やけがの症状を述べるができる。また、体調や病気に関して助言することができる。	4	○	○	授業態度 発問評価 ワークシート パフォーマンステスト
	Lesson 9 I Want to Be a Diplomat	未来について述べたり 自身の希望を伝えたりすることができる。	7	○	○	授業態度 発問評価 ワークシート パフォーマンステスト
	Lesson 10 Do You Share the Housework?	家事について述べるができる。また、自分の意見や考えを述べ、その理由を述べるができる。	7	○	○	授業態度 発問評価 ワークシート パフォーマンステスト
11						
後期 (第 期)	Unit 3 Our School Life Studying Abroad Case Studies	賛成か反対かを述べるができる。また、会話を聞いて概要をとらえたり 自分の考えをまとめて発表することができる。	10	○	○	授業態度 発問評価 ワークシート パフォーマンステスト
	1					

教科	家庭	科目	保育基礎					
単位数	2単位	教科書	家庭 707「保育基礎」(実教出版)					
学年 必 選	3年次 必履修科目	副教材	「保育基礎 新課程版学習ノート」(実教出版)					
教科の目標	<p>家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、生活の質の向上と社会の発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)生活産業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2)生活産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3)職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、生活の質の向上と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>							
科目の目標	<p>家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、保育を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)保育の意義や方法、子供の発達や生活の特徴及び子供の福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2)子供を取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を育む。</p> <p>(3)子どもの健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>							
評価の観点	知識・技術【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】					
趣 旨	保育を担う職業人として必要な、保育の基礎的な技術を習得する。	既存の知識や技術をもとに、子供の発達や生活の特徴を踏まえた上で、子供一人一人の発達に適した保育環境を整えることの重要性について思考を深め、課題を発見する。	保育に関心を持ち、保育に必要な知識と技術を進んで習得し、職業人として習得した知識や技術を活用するとともに他者と協働しながら主体的に学び続ける態度を養う。					
履修上の注意	<p>このシラバスはファイルにとじておいてください。</p> <p>○準拠の学習ノートに取り組んでください。</p> <p>確認テスト、単元テスト、実技テスト、プレゼンテーション発表があります。</p> <p>○子どもの文化、かかわり方を積極的に・体験的に学んでください。</p>							
年間指導計画								
学期	月	単元・学習内容	学習活動・学習のねらい	時数	知	思	態	評価方法
前期 (第 期)	4	1章 子どもの保育 1 保育の意義 2 保育の方法	人間の発達において、乳幼児期は人格形成の最も大切な時期であり、その保育の意義について理解する。 子どもの保育にかかわる人は、子どもとどのようにかかわり、環境を整えれば良いのか考える。	13				確認テスト 単元テスト 実技テスト 振り返りシート 学習ノート
	5							
前期 (第 期)	6	3 保育の環境	子どもの保育の場には、家庭や集団の場などさまざまな場がある。保育環境の特徴や役割をそれぞれ押さえる。	7		○	○	

前期 (第 期)	7	2章 子どもの発達 1 子どもの発達の特徴	人はどのような順に発達していくのか、その順序性や個人差があることなど人の発達の特徴について理解する。	3		○	確認テスト 単元テスト 実技テスト 振り返りシート 学習ノート
		2 子どものからだの発達	新生児期～乳幼児期へと続く人の発達の過程と、その生理的特徴について学習する。	4		○	
	8			3		○	
後期 (第 期)	9	4章 子どもの文化 1 子どもの文化の意義と支える場 2 子どもの遊びと表現活動	遊びを通して育つ子どもに欠かせない子ども文化し、実技体験を通して学ぶ。 ・蘭越高校遊び広場(仮)の企画運営	6			確認テスト 単元テスト 実技テスト 振り返りシート 学習ノート
				3		○	
	10	3 子どもの心の発達 社会・情緒的な発達 知的発達 言葉の発達 3章 子どもの生活 1 子どもの生活と養護 2 生活習慣の形成 3 健康管理と事故防止	人は愛着関係を土台にして、豊かに成長し、自己を形成していく。その重要性を理解する。 子どもは本人の適切な養護によって自立に向かっていく、その発達に応じた養護のポイントを知る。 乳幼児期は、生活習慣を身につけるためのポイントを知る。 いざという時、子どもの安全と健康を守るよう子どもに多い病気のケアや起こりやすい事故への予防策を考える。	4		○	
後期 (第 期)	11	プレゼンテーション発表の準備	プレゼンテーションの準備をする。 プレゼンテーション発表	8			振り返りシート 単元テスト 確認テスト 実技テスト 学習ノート プレゼンテーション
	12						
	1	5章 子どもの福祉 1 子ども観 2 子どもの発達 3 子育て支援	子どもの遊び活動には、昔から伝統的に受け継がれているものから、近年新しく登場した遊びまで学び、理解する。	7			
				2			

教科	家庭	科目	フードデザイン
単位数	2単位	教科書	家庭 703「フードデザイン新課程版」(実教出版)
学年 必 選	3年次 総合教養コース 選択履修科目	副教材	「イラスト調理 BOOK」(実教出版)

教科の目標	<p>家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、生活の質の向上と社会の発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)生活産業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2)生活産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3)職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、生活の質の向上と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>
-------	---

科目の目標	<p>家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食生活を総合的にデザインするとともに食育を推進し、食生活の充実向上を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2)食生活の現状から食生活全般に関する課題を発見し、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3)食生活の充実向上を目指して自ら学び、食生活の総合的なデザインと食育の推進に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>
-------	---

評価の観点	知識・技術【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】
-------	----------	-------------	------------------

趣 旨	<p>フードデザインに必要な要素について理解したことを総合して、実践できる技術を習得する。</p>	<p>食に関する価値観及びライフスタイルの多様化、食生活の環境への負荷など、多面的に食生活の現状を捉え思考を深め、食生活の充実向上を目指して自ら課題を発見する。</p>	<p>食生活を栄養の面に加えて、文化的な意義や精神的な満足と合わせて学習することにより、食材を適切に選択し作るところから食べるところまでを総合的に捉えて、主体的に計画・実践できるようにする。</p>
-----	---	--	---

履修上の注意	<p>このシラバスと授業で配布したプリントは、ファイルにしておいてください。 ○確認テストがあります。 衛生面に配慮して実習に取り組んでください。 エプロン、三角巾、手ふきタオルは衛生的なものを使用する。髪の毛は縛ってください。また、前髪や横の髪を三角巾から垂らさないようにしてください。爪は短く切りましょう。</p>		
--------	---	--	--

年間指導計画				評価計画				
学期	月	単元・学習内容	学習活動・学習のねらい	時数	知	思	態	評価方法
前期 (第 1 期)	4	郷土料理 第 1 章 食生活と健康	日本の郷土料理の特徴と郷土料理成立の背景を理解する。	12		○		授業態度 実習状況 確認テスト 振り返りシート プレゼンテーション制作
	5	第 6 章 フードデザイン実習 通年	<p>日本の自然環境や異文化との接触などの影響によって培われた食文化の特徴を学び、今後の食にいかす方法を考える。</p> <p>食事の意義と役割を学び、現代の食を取り巻く現状について理解する。</p> <p>日常食から供応食・行事食の献立を作成、調理技術を習得する。(通年)</p>					
前期 (第 2 期)	6	第 2 章 栄養素の働きと食事計画 災害食	<p>栄養素の働きを知り、各ライフステージに必要な食事摂取基準を考えた食事計画を立てられるようになる。</p> <p>災害食を体験する</p>	8				授業態度 実習状況 確認テスト 振り返りシート プレゼンテーション制作

前期 (第 期)	7		食品の特徴と性質を知り それらを活かした調理方法を理解する。			授業態度 実習状況 確認テスト 振り返りシート プレゼンテーション製作
	8	第3章 食品の特徴・表示・安全	食品の生産と流通の現状を理解する。 食品の選択と表示に関する知識を学び、健康を考えて食品を選択できる力を養う 食品の衛生と安全に関する知識を学び、衛生的で安全に食品を選択し、調理できる力を養う	4	○	
後期 (第 期)	9	第5章 料理様式とテーブルコーディネート	日本料理、西洋料理、中国料理の様式と献立を学び、調理技術を体験する。 テーブルコーディネート体験を行う (箸袋、テーブルナフキン折) 世界の食文化を学び、実習に活かす。 探求のまとめ	8		授業態度 実習状況 確認テスト 振り返りシート プレゼンテーション製作
	10	第4章 調理の基本	調理の目的を知り、おいしさを活かした調理操作・調味操作を学ぶ。	14	○	授業態度 実習状況 確認テスト 振り返りシート
後期 (第 期)	11					
	12	第7章 食育	食育の意義を学び、推進活動に取り組む。	12		授業態度 実習状況 プレゼンテーション製作 振り返りシート
	1	第6章 フードデザイン実習	様々な知識を活用し、行事食や世界の料理を調理する。 ふりかえりレポート	2	○	実習状況 確認テスト 振り返りシート

教科	情報	科目	コンテンツの制作と発信				
単位数	2単位	教科書	なし				
学年 必 選	3年次 情報ビジネスコース 必履修科目 3年次 総合教養コース 選択履修科目	副教材	なし				
教科の目標	<p>情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技術を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。</p> <p>(2)様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う</p> <p>(3)情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う</p>						
科目の目標	<p>情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習を行うなどを通して、コンテンツの制作と発信に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)コンテンツの制作と発信について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2)情報社会におけるコンテンツの制作と発信に関する課題を発見し、情報産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う</p> <p>(3)情報社会で必要とされるコンテンツの創造を目指して自ら学び、コンテンツの制作と発信に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う</p>						
評価の観点	知識・技術【知】		思考・判断・表現【思】		主体的に学習に取り組む態度【態】		
趣 旨	コンテンツの制作と発信について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。		情報社会におけるコンテンツの制作と発信に関する課題を発見し、情報産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。		情報社会で必要とされるコンテンツの創造を目指して自ら学び、コンテンツの制作と発信に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。		
履修上の注意	<p>1パソコンの専門的な操作に戸惑うことがあると思いますが、興味・関心を持って前向きに取り組みましょう</p> <p>2個人の作業時間とチームで取り組む時間があります。能動的かつ協働的な姿勢で授業に臨みましょう</p> <p>3自分自身の発想力や感性を積極的に発揮して、オリジナリティある作品づくりに取り組みましょう</p>						
年間指導計画							
学期	月	単元・学習内容	学習活動・学習のねらい	時数	知	思 態	評価方法
前期 (第 期)	4	2章 静止画のコンテンツ 1 静止画による表現	企画の立案、構図やカット割りなどの表現法、静止画の編集など、静止画による表現に関する知識と技術を学習する。	3			授業態度 プリント提出 授業課題 単元末テスト
		2 静止画の編集	静止画を扱うソフトウェアの特徴や編集技法など、静止画の制作と編集に必要な知識と技術について学習する。	3			
		3 静止画のコンテンツ制作 実習 学校ポスター制作	作品制作の事例などを取り上げ、適切なアプリケーションソフトウェアの選択および作品制作について学習する。	2			
前期 (第 期)	6	実習 学校ポスター制作	これまで学習した静止画コンテンツの知識と技術を活用して、蘭越高等学校のポスターを制作(デザイン)する。	5			授業態度 授業課題 レポート課題 実習課題評価
		実習 学校行事ポスター制作	これまで学習した静止画コンテンツの知識と技術を活用して、学校祭などの行事のポスターを制作(デザイン)する。	1			
		実習 様々な静止画コンテンツの制作	ポスター以外の様々な静止画コンテンツを制作する。	6			
前期 (第 期)	7	3章 動画のコンテンツ 1 動画による表現	企画の立案、シナリオ及び絵コンテの作成、動画の編集など、動画による表現に関する知識と技術を学習する。	3			授業態度 プリント提出 授業課題 単元末テスト
		2 動画の編集	動画を扱うソフトウェアの特徴や編集技法など、動画の制作と編集に必要な知識と技術について学習する。	1			
		3 動画のコンテンツ制作	作品制作の事例などを取り上げ、適切なアプリケーションソフトウェアの選択および作品制作について学習する。	1			

後期 (第 期)	9	実習 各種動画制作	これまで学習した動画コンテンツの知識と技術を活用して、課題にもとづいた動画を制作する。	6				授業態度 授業課題 レポート課題 実習課題評価
				4				
	10	4章 音・音声のコンテンツ 1 音・音声による表現	効果音、音楽、静止画や動画との組み合わせなど、音・音声による表現に関する知識と技術を学習する。	4				授業態度 プリント提出 授業課題 単元末テスト
		2 音・音声の編集	音・音声を扱うソフトウェアの特徴や編集技法など、制作と編集に関する知識と技術について学習する。	1				
		3 音・音声のコンテンツ制作	作品制作の事例などを取り上げ、適切なアプリケーションソフトウェアの選択および作品制作について学習する。	1				
11	実習 音・音声に関する学習 課題の制作	これまで学習した動画コンテンツの知識と技術を活用して、課題にもとづいた動画を制作する。	2				授業態度 授業課題 レポート課題 実習課題評価	
			2					
後期 (第 期)		5章 情報社会とコンテンツ 1 コンテンツの役割と影響	情報社会の中で、コンテンツが果たしている役割や及ぼしている影響について学習する。	2				授業態度 プリント提出 授業課題 単元末テスト
		2 メディアの種類と特性	コンテンツが様々な種類のメディアで構成されていることや、それらのメディアの特性について学習する。	2				
		3 コンテンツの保護	著作権保護技術の必要性、静止画や動画、音・音声などにおける著作権保護技術について学習する。	1				
		6章 コンテンツの発信 1 コンテンツ発信の手法	各種メディアおよびソフトウェアなど、様々な方法によるコンテンツの発信に関する知識と技術について学習する。	1				授業態度 プリント提出 授業課題 単元末テスト
		2 コンテンツの統合と編集	コンテンツの統合および編集するための必要な知識と技術について学習する。	2				
	1	3 コンテンツの発信と評価	コンテンツの積極的に発信する意欲や態度、課題を発見し主体的に改善していく過程について学習する。	2				